

# 「文楽の楽しみ方」

公 演 人間国宝 二代目吉田玉男師匠

解 説 吉田純子先生 文化庁主任文化財調査官



## ★吉田玉男師匠プロフィール★

1953 年生れ 大阪府八尾市出身

2015 年 4 月 師匠の名跡を襲名し、二代目吉田玉男と名を改める

2020 年 紫綬褒章受章

2023 年 重要無形文化財「人形浄瑠璃文楽人形」（各個認定）保持者認定

日 時 令和 7 年 11 月 17 日（月）14：00～16：00

場 所 日本橋社会教育会館 8 階ホール（日本橋小学校複合施設）裏面参照

東京都中央区日本橋人形町 1-1-17 日本橋小学校等複合施設 8F

参加費 1000 円

申 込 当協会HPか QR コードからもお申込みできます。

公益社団法人日本産業退職者協会 電話 03-6240-9381



## —文楽の歴史—

人形浄瑠璃文楽は、日本を代表する伝統芸能の一つで、太夫・三味線・人形が一体となった総合芸術です。その成り立ちは江戸時代初期にさかのぼり、古くはあやつり芝居、そののち人形浄瑠璃と呼ばれています。竹本義太夫の義太夫節と近松門左衛門の作品により人形浄瑠璃は大人気を得て全盛期を迎え、竹本座が創設されました。この後豊竹座をはじめいくつかの人形浄瑠璃座が盛衰を繰り返し、幕末、植村文楽軒が大阪ではじめた一座が最も有力で中心的な存在となり、その名を「文楽座」というようになりました。「文楽座」の人形浄瑠璃が、その後も継承され、今の「人形浄瑠璃文楽」として存在することになります。

人形浄瑠璃文楽は、ユネスコにより 2003 年（平成 15 年）に「人類の口承及び無形遺産に関する傑作」として宣言され、2008 年（平成 20 年）に「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」に記載されました。

(出典：文楽協会HPより)

